

1 地域公共交通計画に基づく路線の見直し



①市営バス 中条（R6.4から）

AIを活用したオンデマンドシステムに移行し、信州新町と一体エリアの運行に変更

②市営バス 大岡篠ノ井線（R6.4から）

定時定路線の路線運行を廃止。大岡地区、信更地区内の乗合タクシーを活用し、篠ノ井新町線へ接続する運行に変更

③川後線（R6.4から）

路線の短縮及び路線名の変更。小田切地区内の乗合タクシーにより接続する運行に変更

④大豆島保科温泉線（R6.4から）

土休日の減便

2 運転手不足の影響に伴う路線の減便・運休

①運転手不足に伴い、昨年秋頃から民間路線において、土休日を中心に減便等の措置があった。

- ・令和5年10月 長電バス 減便（7路線 44便）
- ・令和5年12月 アルピコ 交通減便（6路線 10便）
- ・令和6年1月 長電バス 日曜日全線運休（11路線 182便）

②事業者からの要請により、市が運行に関与するぐるりん号、廃止路線代替バスも減便とした。

- ・令和6年4月 ぐるりん号、廃止路線代替バス減便（7路線 65便）

3 バス運転手確保に向けた取り組み

長野市では、深刻な運転手不足などに対応し、持続可能な公共交通システムの構築を行うため、民間バス事業者と連携して新たな担い手の確保や雇用環境の整備等に向けて取り組んでいます

【民間事業者の取組】

- 免許取得補助制度の実施
- マスメディア・新聞等を活用した
広告宣伝の実施
- 首都圏等での説明会の実施
- バス運転体験会などの実施

連携

【長野市の取組】

- 補助金による支援
- ホームページ等を活用した広報